

令和4年3月1日

後輩へ

普通科ビジネスコース
33H 中村 嘉希
高尾台中学校出身
商業部所属

「何も信じずに、そして何疑わずに、ただ試してみろ」やっていくうちに自分の興味を持つことが出てくるはず！」この言葉は私の好きな言葉です！

私の人生を言葉で例えるなら天と地です。なぜなら中学校の時は何もかもうまく行かなく、どん底の人生を送っていました。そのような中、鶴来高校に入学しました。最初はまた中学校の時と同じどん底に行くのかなと思っていましたが、ある先生の言葉で僕の人生は360度変わりました。その言葉は「高校は人生をリセットできる場所、やり直しが効く場所」と言ってくれました。この言葉で私は決意しました。絶対変わってやると。

元々私は勉強について苦手を通り越して人よりも何もできなかったもので、私はとにかく自分の視野を広めるためにいろんなことを積極的に取り組みました。そのおかげで好奇心が旺盛になり段々勉強もできるようになってきました。今思えばこの時の行動がなかったら今の自分がないのではないかと思うことがたくさんあります。

2年に入って検定に力を入れ始めました。まずここで一つの壁にぶつかりました。タイピングが中々伸びないと言う問題です。誰も起こる問題です。最初は10分間で250字も行かないぐらいでした、ここで私は考えました。これは自分のやり方ですが、ゲームを上手くなりたいならタイピングを速くすればもしかしたらゲームも上手くなるのじゃないかと好奇心が湧きました！このおかげでやる気が出て人一倍練習しました。その時は楽しくてやめられなかったです。このおかげで3年の全盛期の時は10分間で1400字打つことができました。ここまで好奇心が与える力は恐ろしくないですか？

この経験を生かし電卓の普通計算でも左手を器用にしたら上手くなるんじゃないかと脳を錯覚してやりました。その結果かなり早く打つことができるようになりました。私はパソコンを家に持ってないですが、ここまでできたので持ってる持ってないは関係ないです。ただ自分がやるかやらないかの2択です。

ここで伝えたいことは、何かに好奇心を持って行動することで、今まで得られたことのない経験や能力がついてきます。これは断言できます！

筆記の勉強の時も、もし自分ができるようになれば相手に教えることができると思って積極的に勉強しました。もちろん先生方のたくさんのアドバイスももらいました。そのおかげで筆記試験もなんとかこなしてあげることができました。このような感じで好奇心は誰にも剥がすことのできない最強のアイテムなのです。

高校生活では何かに挑戦してみませんか？もちろん勉強やスポーツもそうです！もし挑戦しているのなら自分の限界って気になりませんか？そういうことを常に追い求めてください、最初に言った言葉のようにうまく行かなければ次に行けばいいのです、今、学生という「特権」をうまく活用してください！私が書いた文書は参考程度でいいです…人には人のやり方やスタイルがあるので。すぐに結果が来なくても大丈夫ですので頑張ってみてください！

- 進路先：株式会社金沢村田製作所
- 資格検定試験取得級（4冠）
 - 全商ビジネス文書実務検定（1級）
 - 全商情報処理検定（1級）
 - 全商珠算・電卓実務検定検定（1級）
 - 全商商業経済検定（1級）
- 全国商業高等学校協会成績優秀者表彰（ビジネスコース選択者）

令和4年3月1日

後輩へ

普通科ビジネスコース
33H 新井 大地
野々市中学校出身
商業部所属

私は、ずっと勉強が苦手でしたが高校の最初のテストでクラスの上位に入ることができ、それから少しずつ勉強を頑張ってきました。高校卒業後は就職しなかったため2年生の時にビジネスコースに入りました。

ビジネスコースでは検定勉強を沢山します。最初は特に4冠を目指そうとは思っていませんでしたが、1級を一つ取った時に「このまま出来るだけ頑張ってみよう」と思い、それから私は4冠を目指すという目標に向け取り組んできました。

1級の勉強はとても難しく、今までに見たこともないような問題ばかりで頭を抱えました。しかし、分からない所は先生や友達が親切に教えてくれたり、自分で調べたりしてなんとか頑張ってきました。これまで、私を支えてきてくれた先生や友達には本当に感謝の気持ちで一杯です。

資格を取る過程で学んだ事は沢山あります。私が、一番大事だと思った事は「目標を立てる事」です。目標は一気に達成するものではありません。少しずつ努力して積み上げられて最終的に達成できるものです。努力する上で目標があると、何を頑張れば良いか考えるようになり意識が変わり、目標を立てる事で自分の努力や成果が分かりやすいので自信がつくようになります。目標に大きさは関係ありません。たとえ小さな目標であっても、努力の積み重ねが人の自信につながると私は思います。

高校生活を送る中で得た目標を達成するまでの経験は、私にとってこれから生きていく上でとても大切なものになると思います。最初は小さな目標でも良いので、皆さんも目標に向かって頑張ってみてください！応援しています！

- 進路先：株式会社金沢村田製作所
- 資格検定試験取得級（3冠）
 - 全商ビジネス文書実務検定（1級）
 - 全商情報処理検定（2級）
 - 全商珠算・電卓実務検定検定（1級）
 - 全商商業経済検定（1級）

令和4年3月1日

後輩へ

普通科ビジネスコース
33H 木村 未来
鳥越中学校出身
商業部所属

私は中学校から高校生までずっと進路が決まらず、将来やりたいことも特になかったので「大人になってどうなっていくのだろう」と思いながら過ごす日々でした。私がビジネスコースに入ったきっかけは、何もせずふらふらしているのももったいないし、どうせなら資格試験に挑戦して将来の幅を広げておこうと思ったからです。勉強は苦手でしたが、パソコンなら昔触っていたので簡単だろうと思いビジネスコースに進みましたが、そんなに甘くはありませんでした。私は色々な壁にぶつかりました。授業を真面目に受け、聞いていれば合格できる資格試験は3級をまでで、2級からはそうはいかず、授業を理解するのはもちろん、それに加えて復習や努力が必要になってきたのです。勉強に努力することを知らず、やってこなかった私は何度も途中で投げ出そうとしました。しかし、検定に落ちるといのは負けず嫌いの私からすると後悔が残ると思ったので諦めずに頑張り、いくつもの資格を取ることができました。合格したときの達成感から私はここまで頑張ることができたのかな、と思いました。私が1番苦戦したのは10分間で710文字をパソコンに入力しなければならないビジネス文書実務検定の速度の検定です。この検定は日々の努力と積み重ねだな、と思いました。放課後に残って練習したり、友だちの家のパソコンを借りて練習したりして合格できたときは本当に嬉しかったです。努力は実を結ぶ、と言いますが、その実に見合った努力をせずに結果がついてこなかったとガッカリするのではなく、しっかり相應の努力をしてすぐ諦めないことを仕事にも活かしていこうと思いました。

- 進路先：E I Z O株式会社
- 資格検定試験取得級（3冠）
 - 全商ビジネス文書実務検定（1級）
 - 全商情報処理検定（2級）
 - 全商珠算・電卓実務検定検定（1級）
 - 全商商業経済検定（1級）
 - 全商簿記実務検定（2級）

令和4年3月1日

後輩へ

普通科ビジネスコース
33H 南 梨沙子
額中学校出身
商業部所属

私は、中学時代、検定とは全く無縁の存在でした。高校に入り当時の3年生が4冠を達成したことを聞き、先輩の姿に憧れを抱き、2年生からビジネスコースに入りました。沢山の資格を取ることを目標に頑張ろうと思いました。

私が1番苦労した3年生の1年間は、検定、定期テスト、短大入試と今までよりも忙しいものとなりました。3年生になり、1級の勉強を本格的に始めました。あまりの大変さ、難しさにもう無理だと心が折れそうになることもありました。そんな時に支えになってくれたのは、先生方やクラスの友達でした。授業担当の森先生は、わからない所があればすぐに駆けつけてわかりやすくそして優しく教えてくださり、沢山背中を押してくださいました。「3冠」という私にとっては良い結果となり何よりも嬉しかったです。「合格」という形で先生方に恩返しできたこと、最後まで熱心に教えてくださった先生方の存在があったこと心から感謝しています。

資格を取ることで学んだこともたくさんあります。自分から学んだことのない内容に挑戦し、結果に結びついた経験は、自分の成長を感じられる良い経験だと実感しました。知識だけでなく自分で学習計画を立てる能力、最後まで諦めない忍耐力が身に付きました。この経験は、これから先の人生に大きな自信につながると思います。

高校生活では、自分の好きなことだけを続けるのではなく、自分の苦手なことから逃げずに挑戦し続けることが大切だと思います。何か自分なりに目標を見つけ、その目標を達成できた時は、とても嬉しいです。後輩の皆さんにはこの達成感を実感して欲しいです。悔いの残らぬよう頑張ってください。

- 進路先：金沢星稜大学女子短期大学部
- 資格検定試験取得級（3冠）
 - 全商ビジネス文書実務検定（2級）
 - 全商情報処理検定（1級）
 - 全商珠算・電卓実務検定（1級）
 - 全商商業経済検定（1級）